

- ワークショップの最終成果物のイメージです。
- 本日いただくご意見や、関係各所からの指摘（あれば）を反映して修正を行い、その修正内容に問題ないことを第5回ワークショップで確認できたら、「案」を外し最終版にしたいと考えています。

(仮称)子ども包括支援センター「みらいく」に子育てひろばを  
設置するためのワークショップ④ 資料

# 子育てひろばの整備方針（案）

子育てひろばを様々な人が関わる施設にするための第一歩として、これを利用する保護者(市民)や、敷地を所有する実践女子大学、子育てひろば及び子育てひろばに隣接して整備される中高生支援施設を担当する市役所職員が集まるワークショップを開催し、ここで作られた意見を反映した整備方針をまとめました。

今後は、“この内容を予算内でどのように実現するか”遊具メーカー等から企画提案を募り、これを踏まえて最終的な仕様を市が決定します。

そのため、実際に整備される子育てひろばは、この整備方針の内容から一部変更された箇所が出てくる可能性があります。

# 1. 基本的な方向性（案）

市内の乳幼児とその保護者が気軽に足を運んでもらうこと、子育ての孤立化を防ぐことを目指して、“(仮称)子ども包括支援センター”にふさわしい日野市の子育ての拠点となる場を創造します。

## (1) “行ってみたい”と思えるような特別な魅力がある場

- 「みらいく」のシンボルとなるようなインパクトのある遊具がある
- ここにしかない、家ではできない体験ができる
- 日野市の魅力や四季を感じるといった特徴がある
- 立体的な遊具や壁面の利用などにより限られた空間を最大限活用する

↑ 第1回 WS のまとめ > 2. 「こんな雰囲気」 > 魅力・吸引力、有効活用 より

## (2) 子どもと保護者がともに楽しい時間を過ごせる場

- 子どもが体を動かして目一杯遊べる
- ごろごろ遊びやおもちゃ遊び、お絵かきなど色んな遊びができる
- 子どもと保護者が一緒に参加するような様々なイベントを開催できる
- ひろばに来ることが保護者にとっては息抜きにもなる

↑ 第1回 WS のまとめ > 1. 「こんな使い方」 > (1)子どもの遊び、(2)イベント より

## (3) 子育ての支えになるような多様なつながりや交流が生まれる場

- 気軽に相談ができたり、ためになる情報が得られたりする
- 同じ立場の子どもや保護者と知り合い、交流が生まれる
- 中高生や大学生、地域の高齢者等の様々な人々との交流も生まれる
- 子育てに必要な物品の交換などができる

↑ 第1回 WS のまとめ > 1. 「こんな使い方」 > (3)その他の使い方 より

## (4) みなを暖かく迎え入れてくれる場

- 障害のある子、ない子が一緒に遊べる
- 初めて来た人が中を覗いてみたくなる、中に入ってみたくなる
- 寝たきりの子(ストレッチャー)や両手に子どもを抱えた保護者でもスムーズに入ることができる
- 明るく暖かい雰囲気ですぐ居心地がいい

↑ 第1回 WS のまとめ > 2. 「こんな雰囲気」 > 居心地・温もり、利用しやすさ(アクセシビリティ)、インクルーシブ より

## (5) 安全に遊べる / 安心して遊ばせられる場

- 保護者やスタッフの目が届きやすい
- 段差等がなく転びづらい、柔らかい素材で転んだりぶつかったりしても痛くない
- 汚れにくく掃除がしやすい(清潔な空間)
- トイレやおむつ替え、授乳や簡単な食事などを行うために必要な空間や設備が揃っている

↑ 第1回 WS のまとめ > 2. 「こんな雰囲気」 > 安全・安心 より

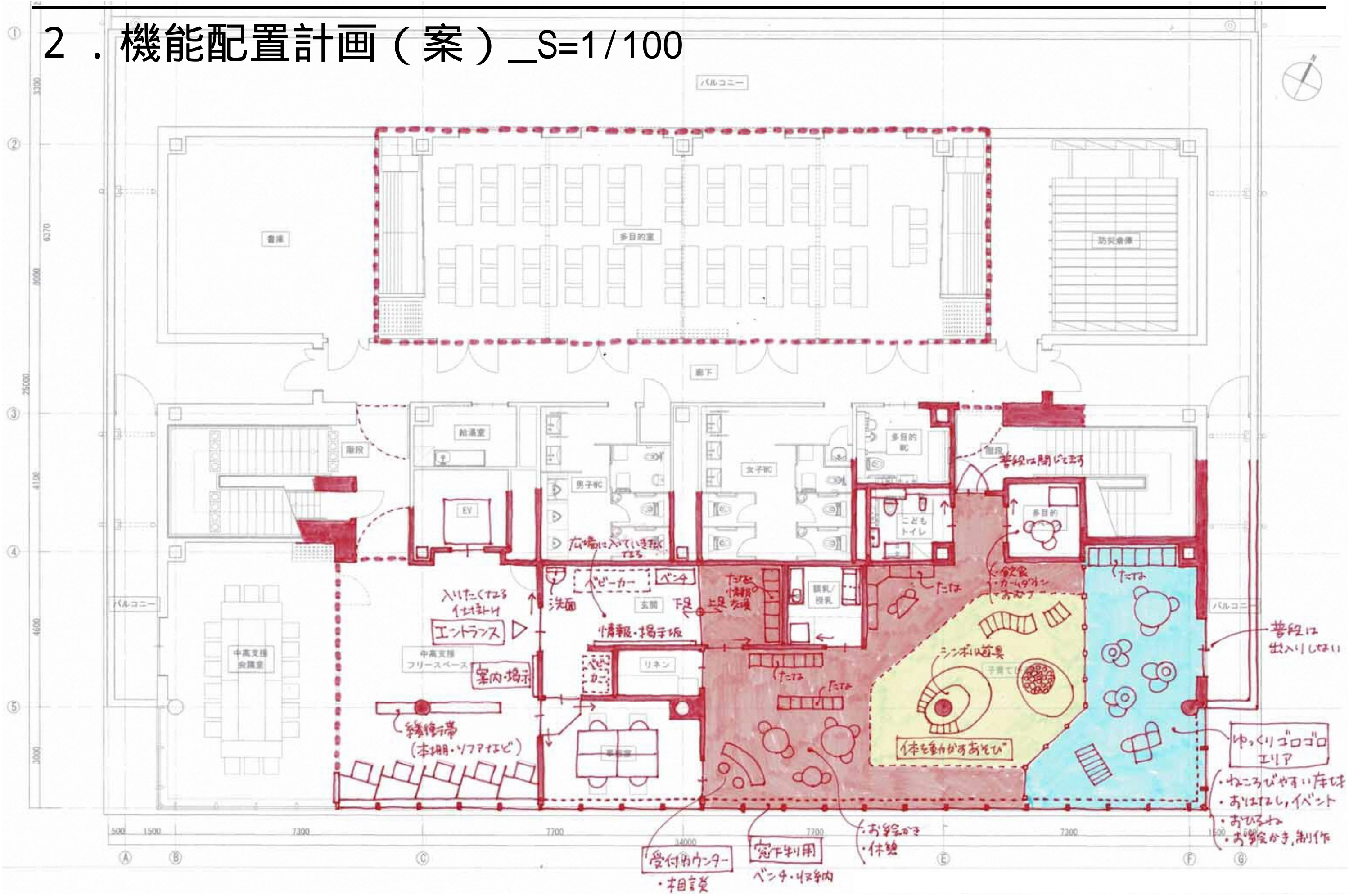
## (6) ひろば外とも気軽に行き来ができる開かれた場

- 「みらいく」の建物全体で子育てに関するサポートを受けることができる
  - ー必要な申請や相談をすぐに行うことができる
  - ーひろば横の会議室ではおしゃべりや、イベントの企画・開催などを行うことができる
  - ーひろばの行き帰りには館内のカフェで食事をしたり、子育ての合間に一息つくことができる
- 時には、「みらいく」外の施設や団体が提供する遊びや体験に参加することもできる

↑ WS の中で出たやりたいことの中でひろば内に収めきれない内容をここにまとめました



## 2. 機能配置計画(案)\_S=1/100





### 3 . 各エリア・スペースの整備方針(案)\_(1) 中高生支援フリースペース等

#### ワークショップで出された主な意見

- 利用時間までの待合に使える、帰り際に座って話ができる、ちょっとした飲食ができる、子どもの身支度もできるような共有の場所になると良い
- ソファや自動販売機、コーヒーマシン等が欲しい(中高生も使える)
- 中高生と乳幼児との交流、多世代の交流ができると良い
- 中高生世代が1日中いつでも(午前中も)来られる居場所を確保してあげたい(「子育て関連で使っているから入れない」ということがないように)
- 来訪者を迎え入れる場所と静かに勉強できる場所の間の緩衝帯が大事
- 入りやすくするためには中で何をやっているかが分かるような/見えるような工夫が必要
- 案内板やここに(ひろばの外に)に受付があると良い
- ウェルカムを感じるエントランスにしたい
- 事務室からこちらにいる人にも目が届く、声かけられると良い

#### 中高生支援会議室

- 中高生世代が1日中いつでも来られる居場所となる  
(本日は別資料で概略紹介)

#### 壁面・壁際

- 案内コーナーやモニター等を設置してひろば内でどんなことが行われているか分かるようにする
- ゲートの設置や定期的な声かけ等によりウェルカム感を演出することを検討する
- 中高生支援会議室側には中高生向けの案内等の設置も検討する

#### ④ウェルカム・スペース(仮)

- ソファや自動販売機・コーヒーマシンなどを設置して中高生や子育てひろばの利用前後の親子が一息つけるような場を用意する
- 一息つく両者が交わることで中高生が乳幼児に触れる子育て教育の機会となる
- 本棚に置かれた書籍や雑誌、中高生が選曲した音楽などを媒体にして大人(保護者)と中高生の交流が生まれる

#### 自習スペース

- 中高生が自宅の外でも落ち着いて勉強ができるもう1つの居場所となる

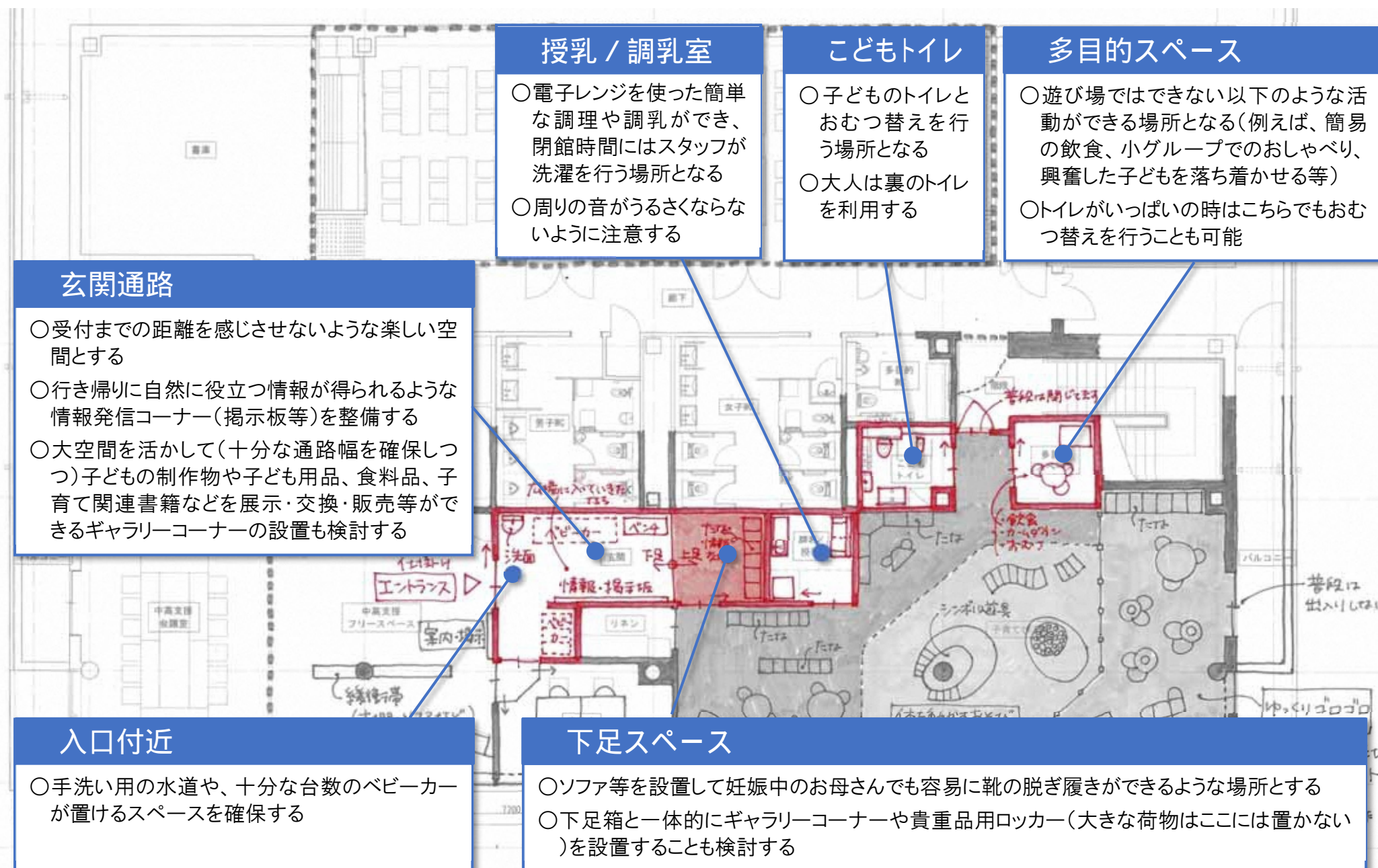
#### 緩衝帯

- 静かな自習スペースと賑やかなウェルカム・スペースの緩衝帯となるように両者の間に本棚を設置する

### 3 . 各エリア・スペースの整備方針(案)\_(2) 玄関/バックヤード

#### ワークショップで出された主な意見

- ベビーカー置場は十分な大きさ(双子用等の大型も置ける)を確保したい
- 中が見えない分、壁や通路を使ってウェルカム感を演出することが大事
- 行き帰りに子育てに役立つ情報(お知らせや本の貸出)が得られる(、収集もできる)コーナーがあると良い
- リユースコーナー、ミニショップ、フードパントリーコーナーなども欲しい
- 下足スペースには、ベンチや荷物を置くスペースがあると良い
- おもちゃ置き場、荷物置き場の棚を十分に確保する
- 子どもが自分でおもちゃを片付けられるような工夫ができないか
- 壁に絵を描けるようにしたい、情報・アンケートコーナーを作りたい
- 窓や天井に飾り付けをして楽しい雰囲気をつくる
- 昇降台を設置して子どもが外を見えるようにしたい
- 感覚に過敏性のある子のために遮光や間接照明等の工夫も必要





# 3 . 各エリア・スペースの整備方針(案)\_(3)ひろば内

## ワークショップで出された主な意見

- 全身を使う遊び、おもちゃ遊び、つくる遊び、読む遊びなど
- 柱を活かしてシンボルとなる遊具をつくりたい(例えば、多摩動物公園に因んだキリンの遊具など)
- 障害を持つ子ども遊びやすい環境を整備する(ソファやハンモックなど)
- 遊びの“静と動”の区別がつくように配置の工夫や仕切りの設置が必要
- 保護者の居場所があると良い、保護者同士で交流できると良い
- おもちゃ置き場、荷物置き場の棚を十分に確保する
- 子どもが自分でおもちゃを片付けられるような工夫ができないか
- 壁に絵を描けるようにしたい、情報・アンケートコーナーを作りたい
- 窓や天井に飾り付けをして楽しい雰囲気をつくる
- 昇降台を設置して子どもが外を見えるようにしたい
- 感覚に過敏性のある子どものために遮光や間接照明等の工夫も必要

## 受付周辺

- 入場時に必要な登録受け付けや体調確認などを行いながら、簡単な相談もできる、また②でも③でもないフリーな使い方ができるスペースを確保する

## ②体を動かすあそびエリア

- エリア内の柱を活かして、登ったりくぐったり滑ったり、大きく体を動かして遊べるシンボル遊具を設置する
- シンボル遊具の周りを“動”の遊びを楽しむ場所とする
- 他にも、大小の遊具や親子で座れるクッション、子どもが転んでも痛くないような床材等を配置して、様々な来訪者がそれぞれ体を動かして遊べるようにする

## ゆっくりゴロゴロエリア

- 一番奥のスペースは、赤ちゃんがハイハイしたり、もう少し大きな子が静かに遊んだりできる場所とする
- 北側は、子どもが寝た場合に寝具を設置することも想定する
- 時には、イベントスペースとして一体的に利用できるような柔軟な使い方ができる場所とする

## 仕切り・境界

- ②で遊ぶ子どもが③に飛び出してくることがないように、外から子どもが簡単に乗り越えられない、中ではつかまり立ちができる、かつ座った大人の目が届くような高さの仕切りを設ける
- 仕切りは単なる柵よりも、それ自体が遊びの材料となるような設えや可動式のもの望ましい
- ①～③の各エリアの遊具などが季節やイベントに応じて配置変換(可変)できると良い

## 壁面・棚

- 北側の壁にはおもちゃや備品等をしまう棚を設置する
- 受付付近には利用者の荷物置き場を設置する
- その他、壁面を利用したお絵かきスペースや壁を使った遊具、掲示板の設置なども検討する

## 天井面

- モビールや子どもの制作物等を飾って楽しい空間を演出する
- ゆっくりゴロゴロエリアの上には、子どもを抱いた保護者が乗れるようなハンモックなどの設置も検討する

## 窓面

- 窓面には楽しい雰囲気を演出するシールや感覚に過敏性のある子どものためのカーテンなどを設置する
- 窓の下部には、外を見たい子どもが登れる昇降台やちょっとした階段、大人のベンチ、おもちゃや荷物を置ける棚などを設置する

